応答専用モードをセットする

夜間や休日にかかってきた電話に対し、応答メッセージ「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」等を流すことができます。また、最大6種類のメッセージを使い分けることもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401-3	下記＊参照	－

＊留守切替(981)または夜間切替00(900)～夜間切替15(915)のいずれか、および応答専用（948)、メッセージ1（701）～メッセージ6（706)、メッセージ切替（707）で必要なもの

■プログラマブルキーでセットする

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 留守切替 ボタンを押す

- 留守切替 ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。

7月10日(金) AM10:10
NO.101 (中島○郎)
転送電話ｵﾝ
転送先①中島○郎
着信音量

2 応答専用 ボタン、メッセージ() ボタンの順に押す

- メッセージ() ボタンは応答メッセージを切り替えたいときに押します。
- 応答専用 ランプが点灯します。
- 選択した メッセージ() ランプが点灯します。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。

7月10日(金) AM10:10
NO.101 (中島○郎)
応答専用ｵﾝ ﾒｯｾｰｼﾞ 1
着信音量

■メニュー機能で応答専用モードに切り替える

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉を呼び出す

①◎を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◎を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、◎を押します。
④「1 留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、◎を押します。

〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
01 転送電話
02 追っかけ転送
03 ﾂｲﾝ転送
04 不応答後転送
◀戻る ⇕決定

2 ◎で「08 応答専用」を選択し、◎を押す

〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
05 不応答後ｵｯｶｹ転送
06 不応答後ﾂｲﾝ転送
07 留守録
08 応答専用
◀戻る ⇕決定

3 メッセージ番号（1～6）を入力し、◎を押す

- ◎を押す前は、メッセージ番号の入力をやり直すことができます。

〈応答専用〉
ﾒｯｾｰｼﾞ番号:2
■ﾒｯｾｰｼﾞ番号1～6入力
◀戻る 決定

4 登録完了画面が表示される

- ◎を押すと終了します。

〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
応答専用 ﾒｯｾｰｼﾞ 2
■登録完了！
終了

応答専用モードをセットする

補足説明

●メッセージ1～メッセージ6ボタンやメニュー機能の操作3で指定するメッセージ番号（1～6）と、録音したシステム応答メッセージ（P7-20）との対応は工事者設定が必要です。［工事者設定401-3］
初期設定は下記のとおりです。
・メッセージ1…固定メッセージ「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」
・メッセージ2…固定メッセージ「本日は定休日です。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」
・メッセージ3…固定メッセージ「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」
・メッセージ4～メッセージ6…設定なし

（設定例）

応答専用モードのメッセージ番号 （メッセージ( )ボタン／メニュー機能の操作3の指定）	応答専用メッセージの録音先
1	システム応答メッセージ101
2	システム応答メッセージ102
3	システム応答メッセージ103
4	システム応答メッセージ104
5	システム応答メッセージ105
6	システム応答メッセージ106

●「■プログラマブルキーでセットする」（P4-38）の操作2で、メッセージ( )ボタンの代わりにメッセージ切替ボタンを押して、メッセージ番号を順次切り替えることができます。例えば、現在の設定がメッセージ1の場合、メッセージ切替ボタンを押すたびにメッセージ2→メッセージ3→･･･メッセージ6→メッセージ1の順に切り替わります。この場合、メッセージ( )ボタンが設定されていると、該当するメッセージ( )ランプも点灯します。
●応答メッセージの録音はデータ設定用電話機から行います。⇒P7-20
また、専用の音声ファイル管理アプリケーションを使用して、パソコンから取り込んだ音声ファイルを応答メッセージとして使用することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●留守切替ボタンの代わりに、夜間切替( )ボタンを押すこともできます。

ご注意

●メニュー機能で応答専用モードに切り替えるだけでは、応答専用モードをセットできません。留守切替ボタンや夜間切替( )ボタンの操作、またはメニュー機能で留守切替や夜間切替を行ってください。

知っていると便利なこと

●メッセージを流した後、外線を切らずに一般の着信にすることもできます。［工事者設定401-3］
※電話機に着信させる時間は10～100秒、10秒単位で設定します。
●電話機に着信させてから、メッセージを流すこともできます。［工事者設定401-3］
※電話機に着信させる時間は5～30秒、5秒単位で設定します。
●リモート操作用の外線の場合、応答メッセージが聞こえている間に9 9 9 #を押すと、リモート操作（P7-28）に入ることができます。

応答メッセージなどを録音する

補足説明

●操作2でシステム応答メッセージがすでに録音してある番号を選択した場合、を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。
●操作4で「**2 消去**」を選択すると、対象のシステム応答メッセージ名称を消去できます。

ご注意

●同時に複数の電話機で登録することはできません。他の電話機で使用中のときは下記の表示となります。
を押すと操作1の④に戻り、を押すと終了します。

<システム応答メッセージ登録>

■他の電話機で編集中です！
◀戻る　終了

システム応答メッセージを録音する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-6)	−	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■特番を押して録音する

1 ハンドセットをとる

• 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 システム応答メッセージ録音・確認特番⑦⑧①を押す

• 保留音が聞こえます。
• 内線番号桁数を2桁に設定している場合は7 8です。

3 システム応答メッセージ番号3桁（⓪⓪①～③⓪⓪）を押す

• 音声案内「録音は1、再生は ＊ （アスタリスク）、消去は0をどうぞ」が流れます。

4 ①を押す

• 「ピー」音が聞こえたら録音開始になりますので、ハンドセットに向かって話します。
録音時間が終了すると、話中音（ツーツーツー）が聞こえます。（1件あたりの最大録音時間は1分です。）

応答メッセージなどを録音する

■メニュー機能で録音する

1 メニューから<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録>を呼び出す

①◎を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◎を押します。
③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、◎を押します。
④「1 ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録」を選択し、◎を押します。

<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録>
NO. 005

■項番直接入力可
◀戻る ⇕決定

2 新規録音時は◎を押す

- メッセージを録音していないシステム応答メッセージ番号が表示されます。
- 登録済みの番号を変更するときは、番号（001～300）を直接入力するか◎で選択してください。
- すでに登録済みの場合は、登録してある名称が表示されます。

<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録>
NO. 005

■項番直接入力可
◀戻る ⇕決定

3 ◎で「2ﾒｯｾｰｼﾞ録音」を選択し、◎を押す

<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録>
1名称登録
2ﾒｯｾｰｼﾞ録音

◀戻る ⇕決定

4 <ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ録音>の機能選択画面となるので、◎で「1録音」を選択し、◎を押す

<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ録音>
1録音
2消去

◀戻る ⇕決定

5 ハンドセットを上げて録音開始音「ピー」を待つ

<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ録音>
NO. 005 録音
留守録応答ﾒｯｾｰｼﾞ 005
■ﾊﾝﾄﾞｾｯﾄを上げ、
ﾋﾟｰの後に録音開始
◀戻る

6 録音開始音「ピー」が聞こえたら録音を開始し、録音を完了したら、1秒程度時間をあけてから◎を押してハンドセットを置く

- ◎を押さずにハンドセットを置いても録音完了となります。
- 録音時間に空きがなく（1件あたりの最大録音時間は初期値1分、またはボイスメモ全体の録音時間に空きがなくなったとき）なっても、録音完了となります。

<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ録音>
NO. 005 録音
留守録応答ﾒｯｾｰｼﾞ 005

■完了時:完了を押す
完了

7 録音完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎を押します。
- ◎を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ録音>
NO. 005 録音
留守録応答ﾒｯｾｰｼﾞ 005

■録音完了！
終了 継続▶

応答メッセージなどを録音する

■特番を押して録音内容を確認する

1 ハンドセットをとる

- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 システム応答メッセージ録音・確認特番⑦⑧①を押す

- 保留音が聞こえます。
- 内線番号桁数を2桁に設定している場合、「システム応答メッセージ録音・確認特番」は 7 8 です。

3 システム応答メッセージ番号3桁（⓪⓪①～③⓪⓪）を押す

- 音声案内「録音は1、再生は ＊ （アスタリスク）、消去は0をどうぞ」が流れます。

4 ⊛を押す

- 保留音が止まり、メッセージがハンドセットから聞こえます。（2回繰り返し）
- 終了すると、話中音（ツーツー…）が聞こえます。

■メニュー機能で録音内容を確認する

1 メニューから<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録>を呼び出す

①◎を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◎を押します。
③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、◎を押します。
④「1 ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録」を選択し、◎を押します。

```
<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録>
NO. 006

■項番直接入力可
◀戻る ◆決定
```

2 ◎で再生を行うシステム応答メッセージ番号（001～300）を選択し、◎を押す

- 番号(001～300)を直接入力することもできます。
- すでに録音済みの場合は、ディスプレイの6行目に 再生 が表示されます。
- すでに名称登録済みの場合は、登録してある名称が表示されます。

```
<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録>
NO. 005
留守録応答ﾒｯｾｰｼﾞ 005

■項番直接入力可
◀戻る ◆決定 再生▶
```

3 メッセージが2回再生される

```
<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録>
NO. 005 再生
留守録応答ﾒｯｾｰｼﾞ 005

◀戻る
```

4 再生完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎を押します。
- ◎を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

```
<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録>
NO. 005 再生
留守録応答ﾒｯｾｰｼﾞ 005

■再生完了！
終了 継続▶
```

■録音したメッセージを使う

ボイスメモに録音したメッセージは下記の用途で使用します。

- 外線お待たせメッセージ＊
- ダイレクトインダイヤル（DID）の一次応答メッセージ
- 留守番機能（留守録モード）の応答メッセージ＊
- 留守番機能（応答専用モード）の応答メッセージ＊
- 留守番機能（発信者選択モード）の応答メッセージ＊
- 留守番機能（転送電話）の転送メッセージ＊
- 不在転送（外線への転送）の転送メッセージ＊
- 非通知着信拒否の送出メッセージ＊
- 発番号識別着信拒否の送出メッセージ＊
- センサ着信時の送出メッセージ＊
- センサ着信に応答時の送出メッセージ＊
- 外線お待たせメッセージの切断メッセージ＊
- 留守番機能（転送電話）の切断メッセージ＊
- 不在転送（外線への転送）の切断メッセージ＊
- 外線保留音
- リモコン操作時の設定完了アナウンス＊
- 圏外トーキー＊
- ACD着信のお待たせメッセージと切断メッセージ＊
- 自動オペレータの応答メッセージ＊
- 簡易IVRの応答メッセージ＊
- 通話録音アナウンス＊
- チャイムタイマの音源 5-1版～

＊固定メッセージを使用することもできます。

応答メッセージなどを録音する

補足説明

●メッセージ一つあたりの最大録音時間は1分（初期値）で、変更することも可能です。[工事者設定722-6]

●特番を押して録音内容を確認するときは、スピーカから聞くこともできます。操作1でハンドセットをとる代わりに内線ボタンかボタンを押してください。

●「■特番を押して録音する」（P7-21）または「■特番を押して録音内容を確認する」（P7-23）の操作4で0をダイヤルすると、対象のシステム応答メッセージの録音内容が消去され、音声案内「メッセージを消去しました」が聞こえます。その後、話中音（ツーツーツー）が聞こえます。

●「■メニュー機能で録音する」（P7-22）の操作4で**「2 消去」**を選択すると、対象のシステム応答メッセージの録音内容を消去できます。

ご注意

●録音後は、録音内容を確認してください。

●留守番機能の留守録モードで使うメッセージ()ボタンと使用するシステム応答メッセージとの対応は、メニュー機能で設定できます。詳細はP4-15をご覧ください。

●留守番機能の応答専用モード（P4-38）、発信者選択モード（P4-41）で使うメッセージ()ボタンと使用するシステム応答メッセージとの対応は、工事者設定が必要です。[工事者設定401-3、401-4]

●メッセージの録音や再生、消去をするときに次のエラー画面が表示されることがあります。

```
<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ 録音>
録音できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了
```

```
<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ 登録>
再生できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了
```

```
<応答ﾒｯｾｰｼﾞ 録音消去>
消去できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了
```

ボイスメモを全回線使用している状態です。を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから録音／再生／消去してください。

```
<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ 録音>
録音できません。
(録音時間/件数が一杯
 またはﾒｯｾｰｼﾞ使用中)

◀戻る 終了
```

ボイスメモに空き容量がない状態です。不要なメッセージを消去して録音してください。

```
<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ 録音>
録音できません。
(内線回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了
```

```
<ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ 登録>
再生できません。
(内線回路空きなし)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了
```

内線通話回路に空きがない状態です。を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから録音／再生してください。

```
<応答ﾒｯｾｰｼﾞ 録音消去>
消去できません。
(メッセージ使用中)
戻ってしばらくお待ち
ください。
◀戻る 終了
```

メッセージを使用中です。を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから消去してください。